

製造現場におけるローカル5Gの本格検証を開始

NTTコミュニケーションズ（NTT Com）は、製造現場のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する「Smart Factory」の実現に向け、ローカル5Gの本格検証を開始します。

今回、株式会社ブリヂストンと合意し、ブリヂストン技術センターおよび製造工場における共同実証実験（本実験）を2020年6月から開始します。

本実験では、ブリヂストンの広大な工場敷地内において通信品質実験、大容量データ送受信実験などを行うことで、将来的なセンサ類のワイヤレス化や、高精細カメラによる高スキル者の技能分析など、製造現場のDXにおけるローカル5Gの活用領域を共同で検討します。

■NTT Comのローカル5G活用のねらい

NTT Comは「DX Enabler[®]」として従来培ってきたネットワークやクラウドの技術を活かし、お客さまのデータ利活用環境の構築に貢献しています。

その中で、データを価値あるものとして利活用するためのプラットフォーム「Smart Data Platform」における、データ収集・伝送機能として「超高速」「多数同時接続可能」「低遅延・高信頼」などの特性を持つローカル5Gを重要な技術ととらえ、その活用領域を検討しています。

ローカル5Gとデータ蓄積・統合・分析などの機能やセキュリティ機能を組み合わせ、トータルソリューションとして、幅広い活用分野での実用化を進めていきます。

また、今後、ラグビートップリーグに所属するNTT Com「シャイニングアークス」のホームグラウンドであ

る「アークス浦安パーク」において多段エッジコンピューティングとローカル5Gとを組み合わせた実証実験を予定しており、ローカル5Gの実用化に向けたノウハウを蓄積していきます。

■本実験の概要

本実験では、4.5 GHz帯および28 GHz帯の実験試験局免許を取得し、NTT Comがブリヂストン技術センターおよび製造工場内にローカル5Gネットワークを構築することで製造現場のDXにおけるローカル5Gの可用性を検証します。

ブリヂストンは社会・お客さま・パートナーとの新たな価値の共創により、「商品」「サービス」「サービスネットワーク」という強みと「デジタル」の組み合わせによって提供されるソリューションを通じて、新たな社会づくりを支える取り組みを推進しています。

その取り組みをサポートするため、NTT Comは本実験を通じ、ブリヂストンのタイヤ製造プロセスにおけるセンサ類のワイヤレス化や、高精細カメラによる高スキル者の技能分析など、さまざまな活用分野を想定した検証を行います。

実験項目（予定）は以下のとおりです。

- ① 電波伝搬試験（測定器・端末にて受信レベルを複数拠点で測定）
- ② 通信性能試験（遅延やスループット性能を複数拠点で測定）
- ③ ローカル5Gを利用した各種アプリケーション試験

■今後に向けて

NTT Comは、現在制度化されている28 GHz帯に加えて、壁や柱などの障害物に強いとされる4.5 GHz帯でのローカル5Gが本格導入されることを視野に、製造現場のみならず、幅広い業種・業態のDX実現におけるローカル5Gの可用性の検討を進めていきます。

◆問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ

経営企画部 広報室

TEL 03-6700-4010

E-mail pr-cp@ntt.com

URL <https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2020/0326.html>

